

町民文化センター改修工事が始まります

国の交付金(地方創生交付金)の対象事業として、昭和56年に建設された町民文化センターに新たな機能を追加し、複合拠点施設に生まれ変わらせるための施設整備を、平成30年1月から開始します。工事期間中は、駐車場の一部と調理実習室、リハーサル室などの施設が利用できなくなり、利用者にご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

問い合わせ 教育課 生涯学習係 ☎ (83)7021

新たな機能・拡充される施設

☆文化拠点機能

- ① 大ホールの音響・照明施設などの拡充
- ② 楽屋施設の改修
- ③ 大ホール前の広場

☆スポーツ機能

- ④ スポーツクライミング施設の新設
 - 1 第2駐車場 壁面 (屋外)
 - 2 大ホール 舞台壁面
 - 3 大ホール 舞台壁面
- ⑤ シャワールームの改修

☆未病改善施設

- ⑥ トレーニング施設の新設
- ⑦ 調理実習室の改修

☆国際交流施設

コミュニティースペースの新設
(平成30年度事業)

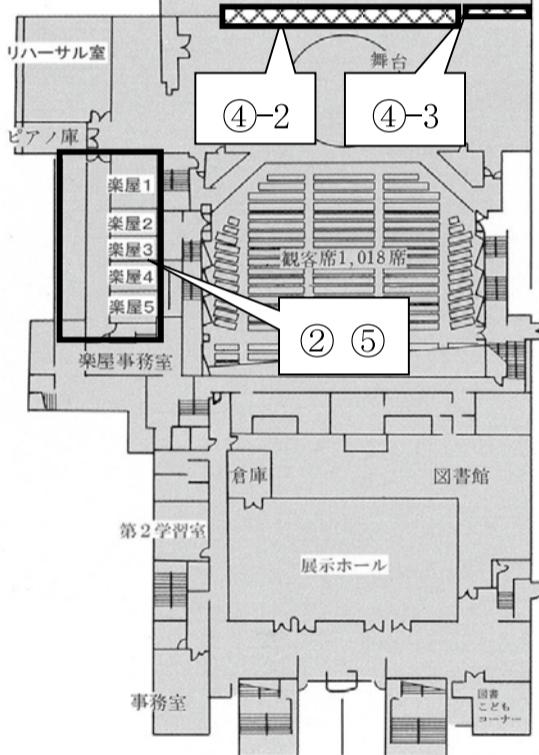
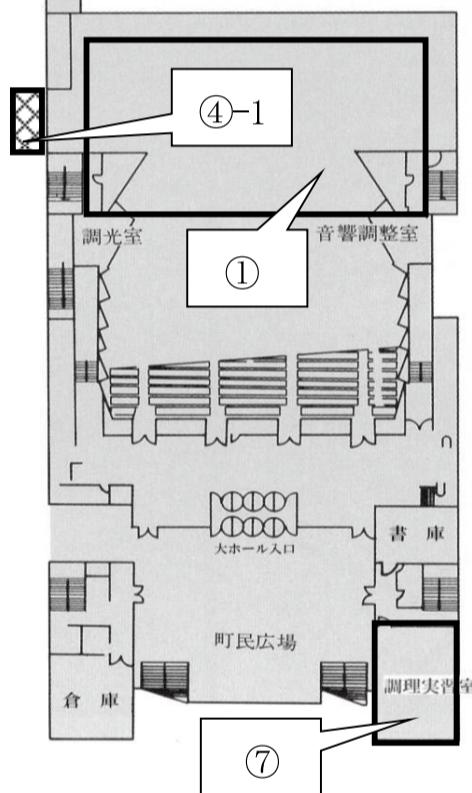
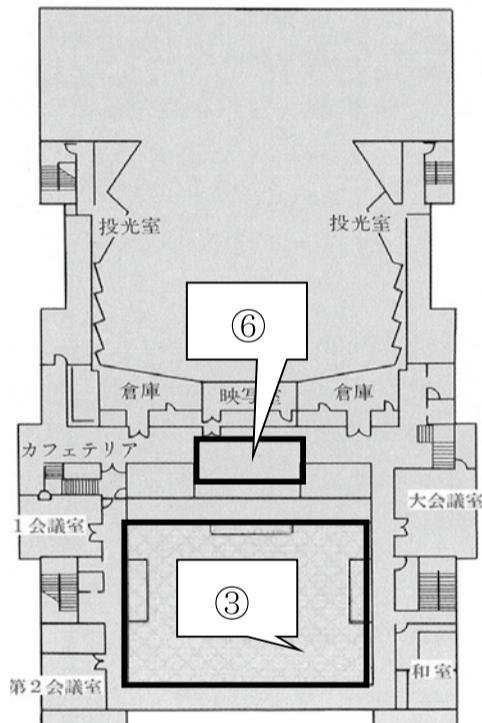
主な工事概要

- ① 音響・照明、舞台施設の改修
- ② 楽屋施設の改修
- ③ ひさし設置、テーブルなどの整備
- ④-1 ロープクライミング 最大傾斜115度
高さ13m 幅6m
- ④-2 ボルダリング
高さ5m 幅21.6m
- ④-3 ロープクライミング(体験版)
高さ7.2m 幅1.8m
- ⑤ 簡易シャワールーム整備
- ⑥ 簡易トレーニングルーム整備
- ⑦ 調理台などの改修
その他、屋上などの防水工事なども併せて実施します。

工事期間: 平成30年1月上旬~3月下旬

大ホールの音響・照明施設などの施設改修、防水工事は、平成29年11月から順次実施しています。

町民文化センター 複合拠点施設整備工事箇所



3階

2階

1階

アンケートの特徴的な答え(複数回答できる設問有り)

- 児童の7割が家族や友達などと過ごしているが、3割が1人で自宅において過ごすことが多い。
- 児童の7割は、本やマンガを読むほかゲームなどを行い、外で遊ぶは4割、塾や習い事に行くは、6割。
- 保護者の4割は、子どもの遊ぶ時間が少ないと感じ、6割が体を動かして遊ぶ機会が少ないと感じている。
- 保護者の6割の子どもが地域の大人と触れ合う機会が少ないと感じている。実際に近所の大人とあいさつや話をする児童は4割程度。

アンケートの結果では「放課後に子どもが安心して遊べる場所が必要ではないか」との結論に至り、今年の3月に教育委員会に提案(建議)されました。提言を受けた教育委員会は、社会教育委員会議に「子ども居場所はどのようにになっていいか」の結論に至り、今年の3月に教育委員会に提案(建議)されました。

アンケートの結果では「放課後に子どもが安心して遊べる場所が必要ではないか」との結論に至り、今年の3月に教育委員会に提案(建議)されました。

社会教育委員会議の委員は、公民館の活動団体や青少年指導員、PTA、子ども会役員などで構成され、町の社会教育活動に関して調査研究をしています。

9・10月に試験的に実施

社会教育委員会議の委員は、

公民館の活動団体や青少年指導員、PTA、子ども会役員などで構成され、町の社会教育活動に関して調査研究をしています。

教育課 生涯学習係
問い合わせ

教室に関心のある方は、お問い合わせください。放課後子どもができるよう、放課後子ども

☎ (83)7021

「人員の確保」が課題

試験実施の際は自治会回覧でボランティアを募りましたが、応募がなかつたため、社会教育委員をはじめ、その知り合いを通じて約20人の方に協力していただきました。本格実施にあたっては、地域の大人が数人程度確保できることが必要です。子どもたちの「楽しかった」という思いを繋げるため、さらには、アンケートで要望のあつた「地域住民同士のあいさつが多くなる環境づくり」ができるよう、放課後子ども

ども教室の開設する場所、運営の方法などを調査研究するため、社会教育委員会議は、実際に近隣の先進地を視察し、手法などを学びました。そして、9月に寄小学校、10月には松田小学校で放課後子ども教室を試験的に実施しました。

どう「質問を行いました。」